

 SYGN HOUSE

**B+COM®**  
Bluetooth Communication system

B+COM

ブルートゥースコミュニケーションシステム

TYPE:SB4X Lite

## ユーザーズマニュアル



**⚠ WARNING | 運転中は安全運転を最優先として B+COM をご使用ください。**

### はじめに

サンハウス「B+COM(ビーコム)ブルートゥースコミュニケーションシステム SB4X Lite」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。B+COM SB4X Liteはデジタル無線技術「Bluetooth3.0」を採用しています。キットをヘルメットに装着して、携帯電話でのハンズフリー通話、ミュージックプレーヤーの音楽やポータブルナビなどの音声のリスニング、タンデムライダーとペアライダーとの会話を外部に配線を引くことなくワイヤレスで快適に楽しめる、新しいコミュニケーションツールです。本製品を安全に、良好な状態で、末永くお使いいただくために、ご使用前に本ユーザーズマニュアルを必ずお読み下さい。ユーザーズマニュアルは保証書も兼ねておりますので、大切に保管して下さい。

### ご注意

- ・本ユーザーズマニュアルに記載されている内容を無断転載することは禁止されております。
- ・製品の仕様、ならびに本ユーザーズマニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容に関してご不明な点などがございましたら、弊社WEBサイト([www.bolt.co.jp](http://www.bolt.co.jp))をご覧いただくか、「保証書」に記載されている連絡先までお問い合わせください。
- ・「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、サンハウスはライセンスに基づいて使用しています。
- ・本製品は電波法に適合するTELECの認証を取得し、日本国内での使用許可を得ています。

※海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

### 目 次

#### 操作早見表

##### 1. はじめに

主な特長／重要なお知らせ／安全に正しくお使いいただくために／各部の名称とはたらき／充電方法／電源を入れる／切る

##### 2. B+COM 同士の接続・通話

B+COM 同士で話す（初期登録～通話／B+COM 同士で話す（3～4人）

##### 3. デバイスの接続・聞き取り

デバイスと接続する／携帯電話を操作する／音楽を聴く／ナビ音声（レーダー警告音）を聞く

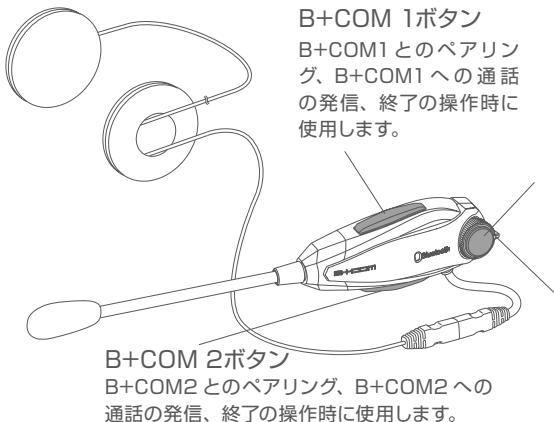
##### 4. 便利な使い方

複数の音声を同時に聴く／音声やナビを聞きながら会話する／使い方が広がる便利な通話機能／使い方広がるオプション品、あると便利なスペアパーツ類

##### 5. その他

設定・登録情報をリセットする／ボイスアシスト一覧表／ソフトウェアをアップデートする／こんなときは／仕様／保証書

# 操作早見表



## 電源

機能	操作方法	備考
電源ON	デバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを上に3秒間回す	本体LED 青1秒間点灯
電源OFF	デバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを下に1.5秒間回す	本体LED 赤1秒間点灯
電池残量の確認	B+COM2ボタンをダブルクリック	<p>本体LED HIGH:青1秒間点灯 MID:青+赤1秒間点灯 LOW:赤1秒間点灯</p> <p>サウンド HIGH:「B+COM Let's Go!」 MID:「Battery MID.」 LOW:「Please Charge」</p>

## ペアリング

機能	操作方法	備考
1人目のB+COMと接続(B+COM1)	2機の電源を入れてから、両機のB+COM1ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅後、B+COM1ボタンを1クリック(片方のみ)	本体LED 赤高速点滅→赤中速点滅→青点滅
2人目のB+COMと接続(B+COM2)	2機の電源を入れてから、両機のB+COM2ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅後、B+COM2ボタンを1クリック(片方のみ)	本体LED 赤高速点滅→赤中速点滅→青点滅
B+COM Stationと接続	電源をONにしてB+COM1またはB+COM2ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅→Stationからの着信開通を待つ	本体LED 赤高速点滅→青点滅
各種デバイスと接続 (携帯電話、ナビ、トランスマッターなど)	電源OFFの状態から、デバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを上に5秒間回す	<p>本体LED 赤青交互点滅→青点滅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●携帯電話の場合は、あらかじめBluetoothをONにしておく</li> <li>●PINコードを求められる場合は「0000」を入力</li> </ul>

## デバイス操作

機能	操作方法	備考
スピーカー音量調整 (15段階)	ボリュームダイヤルを1クリックずつ回す (音量UP:上へ回す 音量DOWN:下へ回す) 音量デフォルト機能: 電源再起動後はボリュームが全て「10」となります。	B+COM通話 (ICP) チャンネル、音楽 (A2DP) チャンネル、携帯電話 (HSP/HFP) チャンネル、はそれぞれ独立して音量調整が可能
マイク音声入力ミュート	B+COM通話中または携帯電話通話中、B+COM1ボタンをダブルクリックでミュート、再操作でミュート解除	ミュート中は15秒に1回ビープ音でミュートの状態をお知らせ
B+COM1 通話呼出・通話	スタンバイ中、A2DP接続中、またはB+COM2から着信して通話中にB+COM1ボタンを1クリック	B+COM2と着信通話中にB+COM1ボタンを押すことで、B+COM1 & B+COM2とのグループ通話が可能 ※グループ通話は接続エラーが起こる場合があります。
B+COM1 通話終了	B+COM1と通話中にB+COM1ボタンを1クリック (B+COM1 & B+COM2と通話中は、B+COM1通話のみ終了)	呼び出し中にもう一度押すことで呼び出しをキャンセル
B+COM2 通話呼出・通話	スタンバイ中、A2DP接続中、またはB+COM1から着信して通話中にB+COM2ボタンを1クリック	B+COM1と着信通話中にB+COM2ボタンを押すことで、B+COM1 & B+COM2とのグループ通話が可能 ※グループ通話は接続エラーが起こる場合があります。
B+COM2 通話終了	B+COM2と通話中にB+COM2ボタンを1クリック (B+COM1 & B+COM2と通話中は、B+COM2通話のみ終了)	呼び出し中にもう一度押すことで呼び出しをキャンセル
オートグループコール	スタンバイ中、A2DP接続中、B+COM1およびB+COM2ボタンを同時に2秒間長押し	A=B=C=Dでペアリングした際、Aが操作することで、A⇒B⇒C⇒Dと自動で呼出します。途中で終わつた場合は手動で続きを接続します。
音楽プレーヤー 曲の再生/一時停止	デバイスボタンを1クリックで再生、再操作で一時停止 ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	B+COMデュアルトランスマッターでは、この操作でミュート/再出力
音楽プレーヤー 曲のスキップ	ボリュームダイヤルを上に1秒間回す ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	
音楽プレーヤー 曲の頭出し	ボリュームダイヤルを下に1秒間回す ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	
携帯電話 着信応答	着信音出力後、デバイスボタンを1クリック	グループ通話時は接続できません
携帯電話 終話	携帯電話通話中、デバイスボタンを1クリックまたは通話相手による終話操作	
携帯電話 リダイヤル発信	デバイスボタンを3秒間長押し	
ALLリセット	デバイスボタン、B+COM1ボタン、B+COM2ボタンを同時に3秒間長押し	電源OFF状態で行ってください 青+赤LED同時点灯→手を離すと消灯
インカム通話チャンネル 限定リセット	スタンバイ状態 (電源ON、機器未接続) で、デバイスボタン、B+COM1ボタン、B+COM2ボタンを同時に3秒間長押し	グループ通話をする際は、一旦登録情報をリセットするとスムーズです。携帯電話やナビなどの登録情報は消えません。

◎B+COM使用時に、こちらのページをコピーをして簡易マニュアルとしてご利用いただけます。

# 主な特長

B+COM 同士で走りながら「話せる！」



1対1の通話なら、最大通信可能距離は約1.4km

※双方の間に障害がない場合

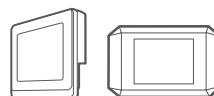
迫力のステレオサウンドで「聞ける！」



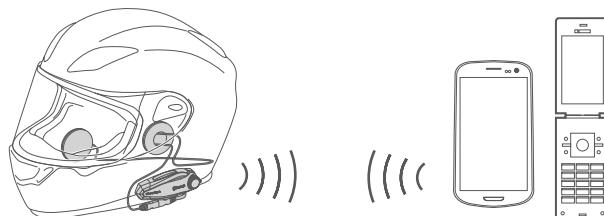
音楽プレーヤー



独自機能「3D／ノイズフィルター」搭載



走行中も携帯電話と「つながる！」



マルチブル機能で、2台同時に接続OK

2台までペアリングOK!

◎オプション品を使えば、もっと便利で快適な  
B+COM WORLD が楽しめます！(→15~19ページ)

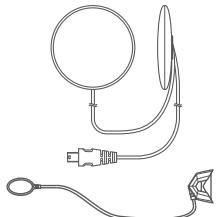
# 重要なお知らせ

**保証書(本書裏ページ)が無い場合は、いかなる理由でも保証対象外です！**



## 本体ユニット以外は消耗品になります

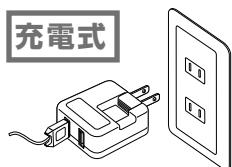
マイクやスピーカーなどは消耗品のため、過度な使用や過度な応力による破損・断線、経年劣化等の場合は、オプションのスペアパーツをご購入ください。



※保証期間内にて、通常使用での不具合(過度な使用、過度な応力による破損等以外の不具合)については、保証対象となる場合がありますので、サポートにお問い合わせください。

## バッテリーの劣化にご注意ください

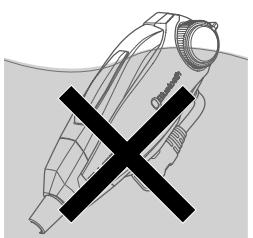
電池残量が低下したまま保管すると、内蔵バッテリーが短期間で劣化して使用できなくなります。使用後、保管前には必ず充電し、長期保管する場合は定期的な充電をしてください。



## 本製品は水中使用は保証しておりません！

本製品の本体部は防水構造となっており高い防水保護性能を有しています。

しかし、本体はマイクが装着されてない状態では防水性が無く、また、マイクやスピーカーは防水仕様ではありません。オートバイ用のヘルメットへ正しく装着してオートバイ走行環境での使用のみ防水性が発揮されます。



## 本製品およびヘルメットの取り扱いは、大切に、そして慎重にやさしく！

ヘルメットは安全を守る大切なギアです。そのヘルメットに装着して使用する事を想定して設計されており、強い衝撃や無理な力での取り扱いに耐えうる強度は有しておりません。大切にご使用ください。



◎マイクの扱いもやさしく！

# 安全に正しくお使いいただくために

- B+COM SB4X Lite は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導下さい。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をご理解の上、本文をお読み下さい。



指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。



指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。



指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。

## <使用上の注意>



- 大音量を聞きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難して下さい。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器などの近くでは電源を切って下さい。Bluetooth の電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ベースメーカーなどの近くでは使用を控えて下さい。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてをご確認下さい。
- 飛行機の中では使用しないで下さい。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。



- 分解、改造、修理をしないで下さい。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないで下さい。本製品は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーティーや miniUSB ジャック接続パーティの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けて下さい。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けないで下さい。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査及び修理の依頼をして下さい。
- ボリューム設定に気を付けて下さい。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないで下さい。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

## <電池に関するご注意>

### !**警告**

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流して下さい。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けて下さい。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談下さい。
- 家庭用コンセントからの充電の際は指定のACアダプターを使用して下さい。指定以外のACアダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
- ACアダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないで下さい。交流100V-240V以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
- 長期間使用しない時はACアダプターをコンセントから抜いて下さい。差したままの状態で放置すると、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。

### !**注意**

- ミニUSBジャックに金属片を接触させないで下さい。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。

## ● Bluetoothについて



Bluetoothとは短距離デジタル無線通信方式の世界標準規格です。携帯電話、パソコン、パソコン周辺機器、ゲーム機、家電製品など、Bluetooth機能を持つ機器同士を無線で接続し、音声やデータのやり取りが可能です。  
 Bluetoothを使えばケーブルを使わずスッキリ手軽にワイヤレスでの接続ができます。  
 さらに機器との間に障害物があっても通信ができるので、一方の機器をバッグやポケットの中に入れて使うこともできます。  
 Bluetooth機能を備えた機器は増え続けており、ジャンルを超えた接続が可能になっています。  
 (接続するには双方のBluetooth機器に同一のプロファイルが実装されている必要があります)  
 ※Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、プログラミングされた機能が再現できない場合があります。

## ● 使用する電波について

本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局無線設備として技術基準適合証明を受けています。日本国内で本製品を使用する際に無線局の免許は不要です。

**機器名：B+COM SB4X Lite**

※海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

B+COM SB4X Liteは2.4GHz帯の電波を使用しています。この周波数帯では他の無線機器も電波を発信しています。電波干渉を防ぐため、近くで以下の機器や無線局が使用されていないかを確認し、電波干渉が起こった場合は速やかに使用を止めるか、場所を変えて使用して下さい。

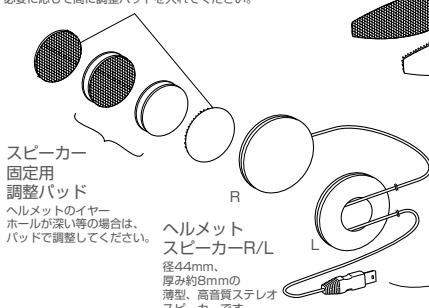
- 電子レンジや心臓ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用される免許を必要とする移動体識別用構内無線局
- 免許を必要としない特定小電力無線局
- アマチュア無線局
- IEEE802.11g/b規格の無線LAN機器

# 各パーツの名称とはたらき

## 共通同梱品

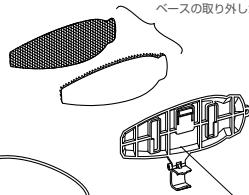
### スピーカー固定用 ベルクロテープ

スピーカーをヘルメットに固定します。  
外側が接着シート、内面がファスナーなので、  
スピーカーの取り外しが簡単です。  
必要に応じて間に調整パッドを入れてください。



### 面ファスナー

貼り付け型ベースをヘルメットに  
固定します。外側が接着シート、  
内面がファスナーなので、  
ベースの取り外しが簡単です。



### 貼り付け型 ベース

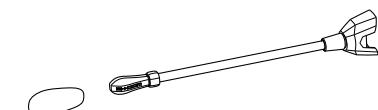
ヘルメットの外側  
に直接貼り付ける  
ベースです。



### 本体ユニット

フェイスプレートは  
オプションでお好みのカラーに  
着せ替えが可能です。

## アームマイク UNIT 同梱品



### アームマイク用 スポンジ

マイクに被せる事で物理的に  
風切り音を軽減します。  
必ず使用してください。

### アームマイク

風切り音を軽減する高性能デジタル  
ECMです。スポーツジェットタイプ、  
ジェットタイプにおすすめです。

## ワイヤーマイク UNIT 同梱品



### ワイヤーマイク

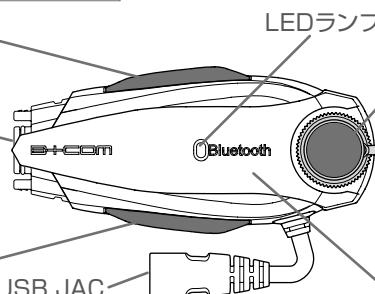
フルフェイスやシステムヘルメットに  
最適なマイクです。  
システムタイプ（フリップアップ）、  
スポーツジェットタイプの一部ではチー  
クパッド内に仕込むことで快適な使用感  
が得られます。口元にゆとりが無いフル  
フェイスの場合もチークパッド内に仕込  
むのも有効です。

## 本体ユニット各部の名称

### B+COM 1ボタン

### マイクJAC

### B+COM 2ボタン



### デバイスボタン

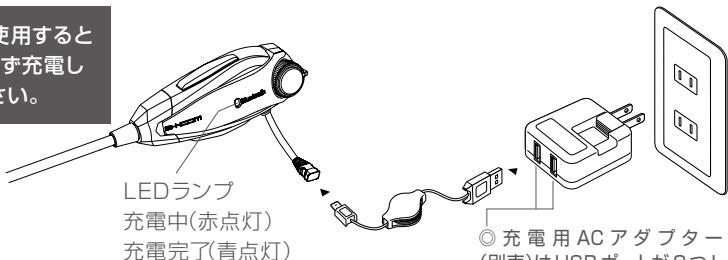
### ボリュームダイヤル

### フェイスプレート

# 充電方法

B+COM SB4X Liteは内蔵バッテリーで作動します。本体ユニットと充電用USBケーブル、充電用ACアダプター(別売、またはお手持ちのUSB充電器)をつなぎ、コンセントに接続してください。

初めて使用するときは、必ず充電してください。



○充電用 AC アダプター(別売)はUSBポートが2つ! 2台のB+COMを同時に充電したり、USB対応機器の充電が可能です。

**!** 使用後は必ず充電してから保管してください

ツーリングなど使用後はバッテリー残量が少なくなっています。バッテリー残量が少ない状態での保管は放電が進み、短期間でバッテリーが劣化してしまいます。使用後は「充電してから保管」の徹底をお願いします。

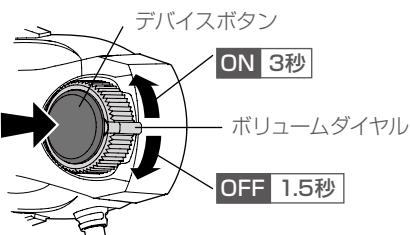
## 電源を入れる／切る

### ● 電源ON

デバイスボタンをクリックしたまま、ボリュームダイヤルを3秒間に回す

### ● 電源OFF

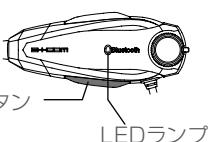
デバイスボタンをクリックしたまま、ボリュームダイヤルを1.5秒間に下に回す



### ○電源ON時、バッテリー残量を表示します

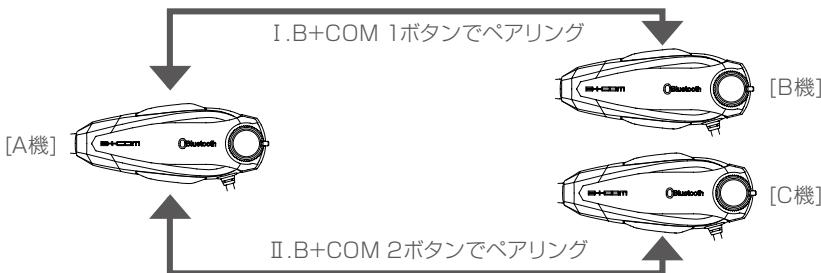
電池の残量は、LEDランプの表示パターンおよび音声によって確認できます。

- 電源を起動後、自動的に通知（起動音「トゥルルルー」の後）
- 起動中、B+COM 2ボタンをダブルクリック



LEDランプ	音声	状態
青1秒間点灯	「B+COM Let's Go！」	良好です。そのまま使用可能です。
青+赤1秒間点灯	「Battery MID.」	まもなく充電が必要な状態ですが使用可能です。
赤1秒間点灯	「Please Charge」	充電が必要な状態です。充電してからご使用ください。

# B+COM 同士で話す（初期登録～通話）



## <B+COM同士で通話をするための初期登録(ペアリング)をする>

### I. A機とB機をペアリングします。

- ①A機とB機の電源を入れ、両機のB+COM1ボタンを3秒間長押し（ペアリングモード）
- ②LEDが赤色高速点滅したら、A機のB+COM1ボタンを1クリック
- ③LEDが赤色点滅から青色点灯したら、ペアリング完了



### II. A機とC機をペアリングします。

- ①A機とB機のペアリング完了後、C機の電源をON
- ②A機とC機のB+COM2ボタンを3秒間長押し（ペアリングモード）
- ③LEDが赤色高速点滅したら、A機のB+COM2ボタンを1クリック
- ④LEDが赤色点滅から青色点灯したら、ペアリング完了

## <B+COM同士で通話/終話する>

- ①通話するB+COMの電源をONにします。
- ②ペアリング済みのB+COM1または、B+COM2ボタンをクリックします
- ③「B+COM 1 Calling」または「B+COM 2 Calling」が出力されます
- ④各ボタン同士でペアリングした相手に着信音が output され通話が始まります
- ⑤通話中、各B+COMボタンを再度1クリックすると、それぞれの通話が終了します

◎一度ペアリングを行うと、B+COMの情報が登録されます

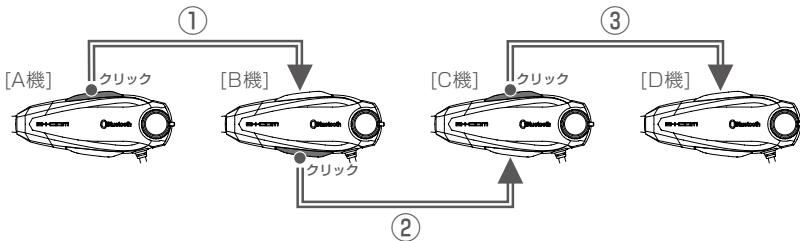
B+COM1、2の各ボタンで最後にペアリングした1台ずつのB+COMの情報が登録されているので、2回目以降の接続は再度ペアリングを行う必要がありません。

※リセット操作を行った場合、ペアリング情報も削除されますので、再度ペアリング操作を行ってください。

# B+COM 同士で話す(3~4人)

## <B+COM SB4X Lite同士でグループ通話する(最大4人)>

以下の①→②→③の順番でのみ呼び出し接続が可能となります。



**※** ⇒ と反対方向からの呼出は不安定になるため行わないでください。  
・グループ通話中は不安定になるためデバイス接続はしないでください。

①上図のように順番を決めます

②「インカム通話チャンネル限定リセット」を行います※推奨(⇒P.20参照)

③上図①、②、③の組み合わせの各ボタンでペアリングを行います

④ペアリングが全て終えたら、A機から順番に①→②→③の順で呼び出します

⑤通話中、各B+COMボタンを再度1クリックすると、それぞれの通話が終了  
※3者通話の場合は、D機との③の操作が必要ありません。

**!** グループ通話は2人通話よりも通話品質が劣化します。(2人>3人>4人)

## <オートグループコール(最大4人)の操作方法>※ペアリングは必要となります

上記の[A機]を以下の操作だけで、上記①→②→③の順番で自動で接続します。



B+COM1ボタンとB+COM2ボタンを同時に2秒間長押しします。発信音が 출력され、[B機]→[C機]→[D機]の順で順番に接続します。

途中、[B機]、[C機]、[D機]のいずれかが、通話中の場合、またはいずれかが旧プログラムの場合はオートグループコールは停止します。

※オートグループコールが途中で失敗した場合はマニュアル操作で続きを接続してください。

### 呼び出しと着信のルール = 呼び出し×1、着信×1

#### ●呼び出し通話のルール

ペアリング済みのB+COM1またはB+COM2ボタンのどちらかで呼び出して通話中は、もう一方のB+COMボタンでの呼び出し通話はできません。

#### ●着信通話のルール

B+COM1またはB+COM2ボタンでペアリング済の相手から着信して通話中は、もう一方のペアリング相手からの着信通話はできません。

**!** SB213.EVOを使用する場合は、A機またはD機としてペアリングしてください。(B機、C機の位置ではグループ通話ができません)

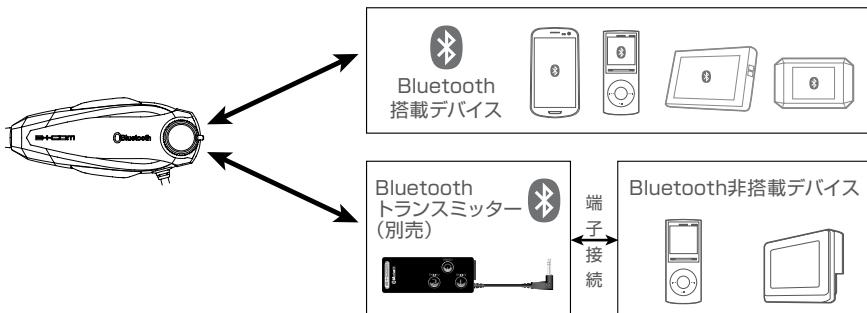
**!** SB213.EVOを使用する場合、著しく通話品質、安定性が低下します。

**!** グループ通話中はデバイス機器が接続されていると、著しく通話品質、安定性が低下しますので、使用できません。

# デバイスと接続する（初期登録）

B+COM SB4X Liteで各デバイス<sup>\*</sup>（スマートフォン、音楽プレーヤー、ナビゲーションなど）とBluetooth通信をするためには、最初にペアリング（初期登録）を行う必要があります。デバイスの種類が違っても、SB4X Lite側のペアリング操作方法は同じです。

\*Bluetooth非搭載デバイスとペアリングするには、別途トランシミッター（別売）が必要です。



①電源OFFの状態からデバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを上に5秒間回し続けます。

※LEDが青色点滅しても操作を止めないでください。

②LEDが赤青に点滅したら、ペアリングしたいデバイスのBluetooth機能をON

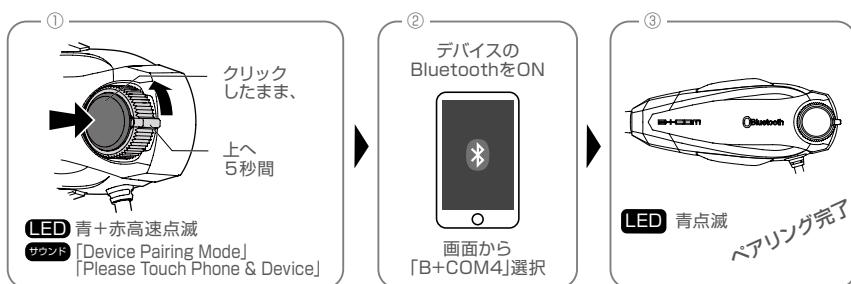
③デバイス画面から「B+COM4」を選択

※PINコードを求められた場合は「0000」を入力します。

※各デバイスの操作方法は、各機の取扱説明書をご覧ください。

④B+COMのLEDが青色点滅したら、ペアリング完了

●2台目以降のデバイスをペアリングする際は、B+COMの電源をOFFにして、同じ手順を最初から行ってください。



⚠ ペアリング操作中は、B+COMおよびペアリングを行うデバイス以外のBluetooth機能をOFFにしてください。

◎一度ペアリングを行うと、デバイス情報が登録されます

ペアリングした最新デバイス 2 台の情報が登録されているので、2 回目以降の接続は再度ペアリングを行う必要がありません。

※リセット操作を行った場合、ペアリング情報も削除されますので、再度ペアリング操作を行ってください。  
※登録したデバイスの組み合わせによっては、2台同時に使用できない場合があります。

# 携帯電話を操作する

## ●接続（コネクト）

Bluetooth通信をするにはペアリング済みの登録機器とSB4X Liteを、Bluetooth接続（コネクト）を行う必要があります。

※ペアリングを行った直後はそのまま接続されています

SB4X Liteはオートコネクト機能により接続する機器を同時に電源ON（Bluetooth機能ON）にするだけで、自動で接続されます。（起動後6秒間のみ）※

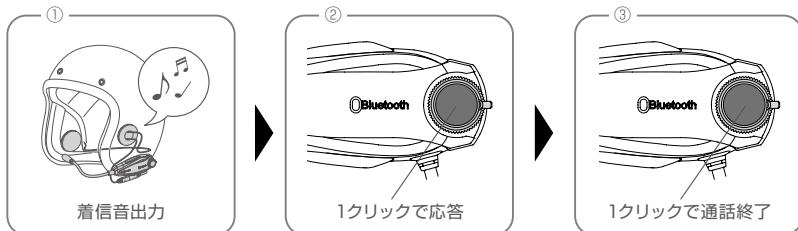
- ①スマートフォンまたは携帯電話のBluetooth機能をON
- ②B+COMの電源をONにします。
- ③スマートフォンで「接続しました」等の表示が出れば、接続完了です。  
完了すると、SB4X Liteからは、「HFP ON」または「HSP ON」と出力されます。

※未接続のまま6秒間を過ぎた場合は、ボリュームダイヤルを上に1回上げて接続をしてください。（マニュアルコネクト ※ボリューム操作が機能しない時のみ有効）

※機種によりオートコネクト出来ない場合はデバイス側から接続操作を行ってください。

## ●通話／終話

- ①B+COM SB4X Liteと接続した携帯電話に着信があると、スピーカーから電話の着信音または、B+COMのコール音が出力（機器により変わります）
- ②デバイスボタンを1クリックすると、応答・通話開始
- ③再度デバイスボタンを1クリックすると、通話終了

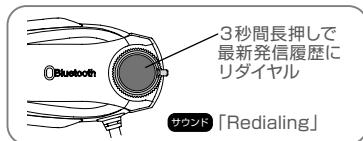


インカム通話中に携帯電話の着信音が鳴り携帯電話に出る場合は、B+COM通話を一旦終了してから、上記の方法で通話を開始してください。

## ●リダイヤル

デバイスボタンを3秒間長押しすると、接続中の携帯電話の最新発信履歴にリダイヤルされます。

※携帯電話を2台接続している場合、2台目に接続した携帯電話からのリダイヤル発信になります。



**⚠ 携帯電話の機種により動作不安定になる場合があります。**

# 音楽を聞く

スマートフォンや音楽プレーヤーとB+COM SB4X Liteをペアリング・接続することで、ワイヤレスリスニングとリモコン操作が可能になります。

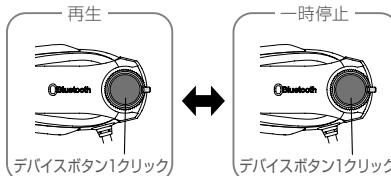
通信を行う際は、接続(コネクト)を行いますが、スマートフォンや音楽プレーヤーのBluetooth機能をONにした状態で、SB4X Liteの電源ONにすることで6秒間のオートコネクト機能により自動で接続を行います。「A2DP ON」と出力されれば完了です。

接続が完了したら、デバイス側のミュージックプレーヤーを起動して機器側で音楽等を再生すると以下の操作が行えるようになります。

※リモコン機能[AVRCP]対応のプレーヤーのみ(別売トランスマッターは非対応)

## 再生／一時停止

デバイスボタンを1クリック



※別売の DUAL トランスマッターは、音声がミュートされます。

## 曲の頭出し

ボリュームダイヤルを下に1秒間回す



下に1秒間回す

## 曲のスキップ

ボリュームダイヤルを上に1秒間回す



上に1秒間回す



音楽プレーヤーをつないだトランスマッターと携帯電話をB+COM SB4X Liteと一緒に接続使用する場合は、先にトランスマッターを接続してから携帯電話を接続してください。

◎Bluetooth非搭載デバイスを使用するには、別売のB+COM Dualオーディオトランスマッターをお使いください。

音声を聴きたいデバイスにトランスマッターを端子接続するだけで、B+COMにワイヤレス出力できるようになります。また、タンデムで2台のB+COMに音声を飛ばし、共有することも可能です。

※トランスマッターと携帯電話をB+COM SB4X Liteと一緒に接続使用する場合は、先にトランスマッターを接続してから携帯電話を接続してください。Androidスマートフォンは登録機器リストから登録機器の設定画面を開いて「メディアオーディオ」(A2DP)をチェックを外してください。

※別売B+COM Dualオーディオトランスマッターを2機のB+COMでペアリングする際は、トランスマッターとA機とのペアリングを保った状態でB機の操作を行ってください。

# ナビ音声(レーダー警告音)を聞く

使用するナビをB+COM SB4X Liteと接続することで音声案内を聞き取ることができます。ナビの音声出力のプロファイルによって、聞こえ方が異なります。



## A2DPのナビ

[音声再生プロファイル]

(音楽プレーヤー、スマートフォンのアプリなどの音声出力と同じ)

B+COM通話着信時:ナビ音声が出力を停止し通話に切り替わります。

携帯電話着信時:ナビ音声が出力を停止し電話の着信音に切り替わります。

**!** A2DPのナビ、レーダーの場合、音楽プレーヤーとの同時接続はできません。どちらか1台の接続になります。



## HSP/HFPのナビ

[ハンズフリー/ヘッドセットプロファイル]

(携帯電話、スマートフォンなどの出力と同じ)

音楽再生時:音楽が一時停止してナビ音声が出力(音楽再生に自動で戻ります※)

※自動で再生しない場合はB+COM側で再生操作を試みてください。

B+COM通話着信時:着信を受けることができません。

携帯電話着信時:基本的にHSP/HFPナビ等との同時接続自体推奨しません。

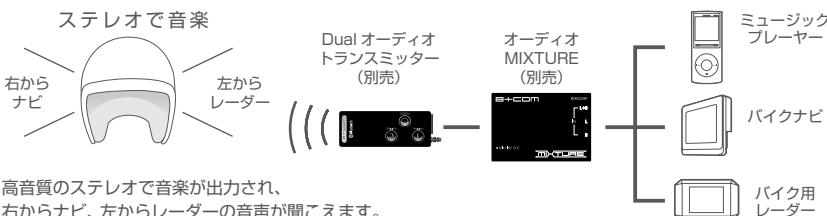
(着信操作を受けることができません)

**!** HSP/HFPのナビ、レーダーの場合、携帯電話やスマートフォンとの併用は動作不安定になることがあります。zumo660/550、HONDA Gathers M 使用の場合は、携帯電話はzumoに接続した状態での使用を推奨します。

# 複数の音声を同時に聞く

オプション品を使用する  
・オーディオミクスチャー2  
・Dualトランスマッター

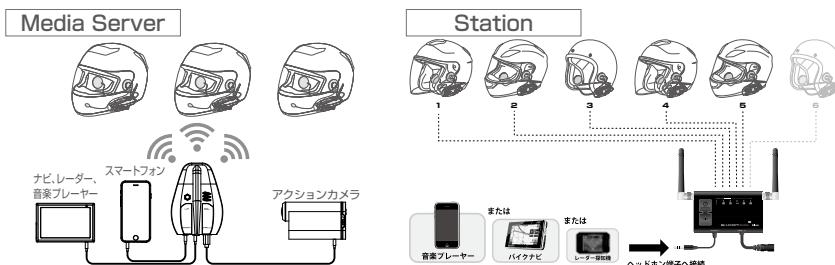
ナビやレーダーを同時に接続しようとしても不安定だったり、動作が出来ない場合があります。2つ、3つのデバイスの音声を同時に聴きたい場合は、オーディオミクスチャーと音声を転送するトランスマッター(別売)の使用をおすすめします。



# 音楽やナビを聴きながら会話する

別売の「B+COM Media Server」または、「B+COM Station」と接続して「聴きトーク」する

B+COM Media Serverを使えば最大3人、B+COM Stationを使えば、最大6人(推奨5台まで)でBGMやナビ、レーダーの音声を聴きながら会話ができる「グループ聴きトーク」が楽しめます。B+COM Media Serverには外部音声入力プラグが2系統、B+COM Stationには1系統設けてあり、音楽機器やナビなどのヘッドホン端子に有線接続することで、Media ServerまたはStationにインカム通話モードで接続したSB4X Liteみんなで会話をしながら音声をみんなで聴いて共有できます。



さらに、Media Serverなら、GoProなどのアクションカムのマイク入力端子にケーブル接続して、動画録画と同時にみんなの会話＆音声と一緒に録音することができます。



B+COM Media Serverと接続する場合の通信距離はMedia Serverを中心に、半径約300m前後となります。  
B+COM Stationと接続する場合の通信距離はStationを中心に、半径約100m前後となります。  
また、通話音質はSB4X Lite同士よりも多少低下します。

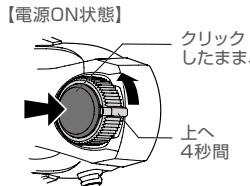


B+COM Media Server/Stationに接続した音声はモノラル音質です。

## <B+COM Media Server/Stationと接続用のモード変更の操作方法>

※プログラムV2.3以降ではモードを統一し、本操作は不要となりました

B+COM Media Server/Stationと最適に接続するためには、サーバーモードの「モードB」へのモード変更が必要です。なお、出荷時のモードは通常モードとなり「モードA」となります。モード変更是、電源ON状態で以下の操作をすることで、それぞれ別のモードへ移行します。



電源ON状態で、デバイスボタンをクリックしたまま、ボリュームダイヤルを上へ4秒以上固定します。  
操作前とは逆のモードとなり、「Mode B」または「Mode A」と出力され、電源が自動でOFFになったら完了です。  
操作開始から2秒後に一旦「ブブ」とビープ音が输出されます。誤操作の場合はここで手を離してください。

### モードの説明と確認方法:

「モードA」…SB4X Lite通常モード。電源ON時にモード音声無し。

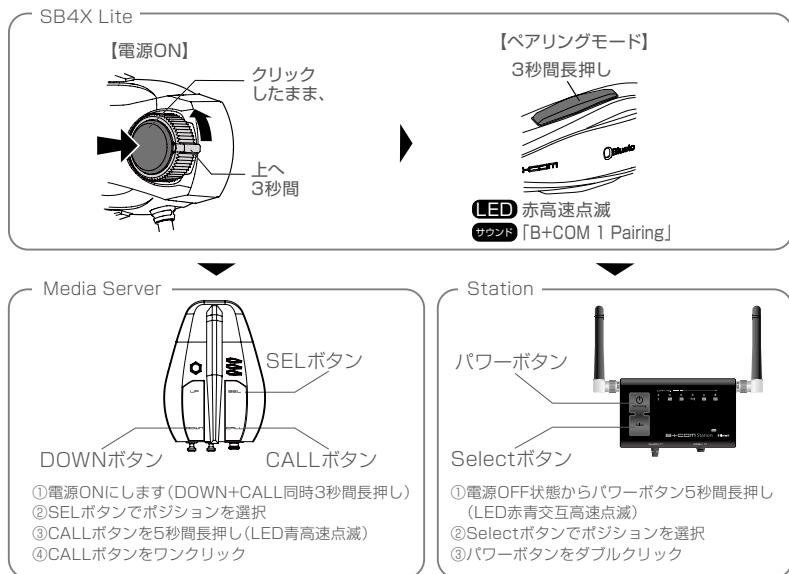
「モードB」…サーバーモード。電源ON時「Mode B」音声あり。通信距離も短縮されます。

※オールリセットを行うとモードAになります。

# 音楽やナビを聴きながら会話する（続き）

## <B+COM Media ServerまたはStationとペアリング（初期登録）方法>

- ①「インカム通話チャンネル限定リセット」を行います※推奨（⇒P.20参照）
- ②B+COM SB4X Liteの電源を入れ、B+COM1または2ボタンを3秒間長押し
- ③Media ServerまたはStationを操作し、ペアリングしたいポジションでペアリングします
- ④Media ServerまたはStationがSB4X Liteを認識すると接続されペアリング完了です
- 上記の方法を1台ずつ繰り返します。



## <B+COM Media ServerまたはStationと接続して通話する>

- ①ペアリングしたB+COM SB4X Lite全機の電源ONし、「Mode B」と出力されることを確認
- ②B+COM Media Server: CALLボタンを1クリック  
B+COM Station: パワーボタンをダブルクリック
- ③順番に各リンク番号のLEDが点灯し接続開始
- B+COM SB4X Lite側でグループ通話から接続を解除（終話）するには、ペアリングしたB+COM1または2ボタンを1クリックしてください。  
再接続するには再度同じボタンを1クリックするか、Station側から呼び出してもらってください。Station側からの呼び出しの方が接続および接続安定性が高くなります。

### Media Server/Stationでのグループ聴きトークの音質について

音質はモノラルですが、音楽はスキー場やビーチなどのBGM放送の聞こえ方の雰囲気があり、話が途切れても快適です。また、分岐ポイントの確認やスピードの出し過ぎ、安全確認などがみんなで聴いて共有でき、快適＆スムーズなツーリングができます。



B+COM Media Server/Stationと接続する場合、携帯電話などのデバイス機器とはBluetooth接続しないでください。（デバイス機器のBluetooth機能をOFF）  
特にStationは著しく接続・通話が不安定になります

# 使い方が広がる便利な通話機能

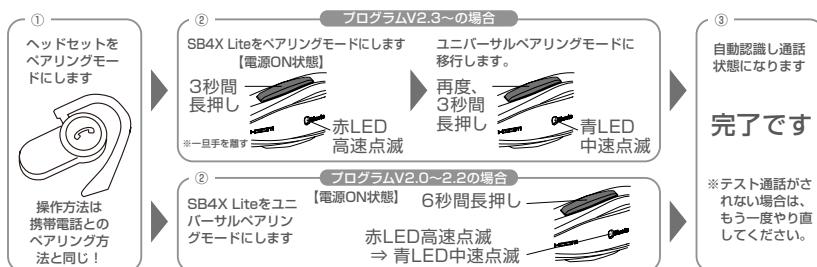
## <ユニバーサルインターフォン 【β版機能】>

スマホや携帯電話と接続可能なハンズフリー通話機能があるBluetoothヘッドセットと直接繋いでインカム通話と同様の会話が可能です。

### I.ユニバーサルインターフォンのペアリング(初期登録)方法

ペアリング(初期登録)する際は、SB4X Liteをオールリセットして、2台を限りなく近付けて(数10センチ以内で)行ってください。

なお、ユニバーサルインターフォンでは、グループ通話は行えません。



### II.ユニバーサルインターフォンの通話方法



※電源起動後、1回目の通話はB+COM側操作で行ってください。

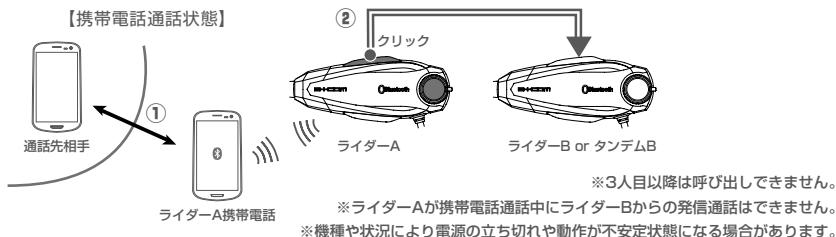
※機器により片側からしか呼出できない場合があります。

※機器により通信距離の短縮、ノイズ増、動作不安定などが起こる場合があります。

## <グループ通話withモバイル 【β版機能】>

接続した携帯電話で通話中、タンデムまたは並走ライダーを通話へ参加させることができます。

①B+COM側でリダイヤル発信または、着信通話を行います。②通話状態のまま、B+COM1ボタンまたはB+COM2ボタンを1クリックし呼び出します。



# 使い方広がるオプション品、 あると便利なスペアパーツ類

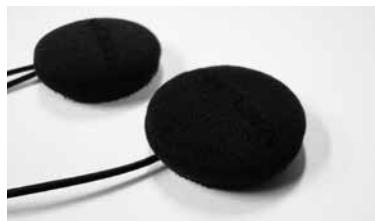
B+COM SB4X Liteをより快適に、楽しくするオプション品、スペアパーツをご用意しています。 ※全てSB4Xと同一になります。

商品名	商品番号	定価(税抜)
<b>【SB4X専用スペア／オプション品】</b>		
B+COM TYPE:SB4X用 7-ピン純正品	00075031	¥5,000
B+COM TYPE:SB4X用 クイック純正品	00075032	¥5,000
B+COM TYPE:SB4X用 クイッククリップベース	00075033	¥2,000
B+COM TYPE:SB4X用 貼付クリップベース	00075034	¥2,000
B+COM TYPE:SB4X用 ハンズフリーケーブル ※マイク、スピーカー、ベースの各スピーカー、面ファスナー類	00075035	¥1,800
B+COM TYPE:SB4X用 クイックチャージ	00075036	¥500
B+COM ハンドスピーカーセット4ミニUSBステレオアダプター ストレート型 ※純正品。スピーカー類付き	00075112	¥3,000
B+COM ハンドスピーカーセット4ミニUSBステレオアダプター L型 ※純正品と同スピーカーのL型プラグ	00075111	¥3,000
B+COM ハンドスピーカーセットNeo.ミニUSBステレオアダプター ストレート型 ※純正品より小径、重低音・高音質タイプ	00073380	¥4,000
B+COM ハンドスピーカーセットNeo.ミニUSBステレオアダプター L型	00073379	¥4,000
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 フィラーレット アラック(純正品)	00072996	¥1,000
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 フィラーレット ウィット	00072997	¥1,000
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 フィラーレット レッド	00072998	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 フィラーレット ブルー	00075113	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 フィラーレット グリーン	00075114	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 フィラーレット イエロー	00075115	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 フィラーレット トリコロール	00075116	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 通用用USB変換アダAPTER-A	00073008	¥500
B+COM USB変換アダAPTER-A ※市販のφ3.5mmヘッドホンを使用するための変換ケーブル	00068646	¥1,200
<b>【B+COMオプション品】</b>		
B+COM Media Server MS-01 Bluetoothメディアサーバー	00077558	¥22,000
B+COM MS-01 オプション 音声出力ケーブル GoPro専用 50cm	00078142	¥1,000
B+COM MS-01 オプション 音声出力ケーブル 3.5mmミニプラグ 50cm	00078143	¥1,000
B+COM MS-01 オプション スマートフォン オーディオケーブル 3.5mm4極ミニプラグ 50cm	00078144	¥1,000
B+COM オーディオミキサーII 3in1 ハンドスピーカータイプ	00074311	¥8,000
B+COM USB変換アダAPTER-A	00068646	¥1,200

着せ替えてオリジナル仕様に変身  
好みの色に交換できる、フェイスプレート



重低音をさらに強化する  
高音質スピーカー  
HELMET SPEAKER NEO.

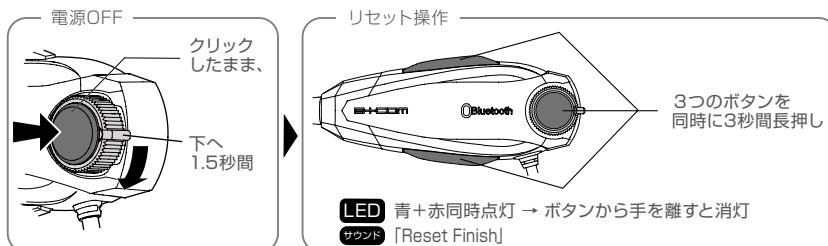


# 設定・登録情報をリセットする

適正な操作を行ってもペアリングがうまくできない、ボタンを押しても反応しないなど、正しく動作しない場合は、リセット作業を行い、B+COM SB4X Liteを初期状態に戻してください。

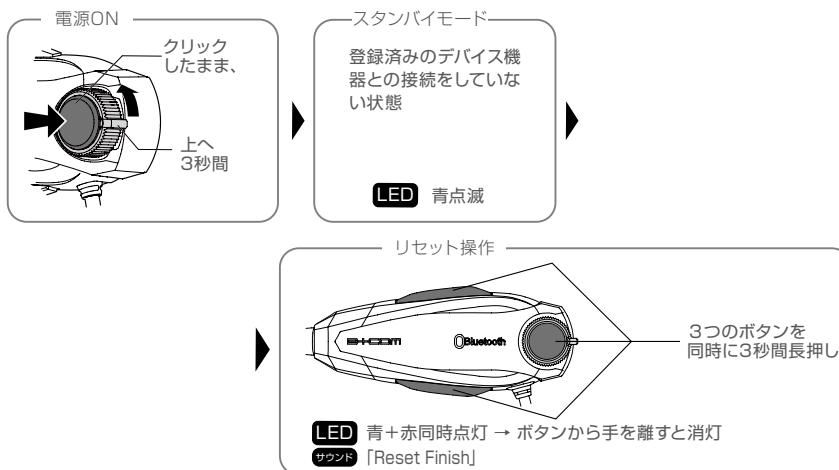
## ●ALLリセット（全ての登録情報、設定が出荷状態に初期化）

- ①電源OFFの状態から、B+COM1ボタン、B+COM2ボタン、デバイスボタンを同時に3秒間長押し
- ②LEDが青赤同時点灯したら、手を離してリセット完了



## ●インカム通話チャンネル限定リセット（便利なリセット機能）

- ①電源ONにします
- ②登録済みのナビや携帯電話、トランスマッターなどと接続していないスタンバイ状態にします（登録済みの機器のBluetooth機能をOFFにしてください）
- ③B+COM1ボタン、B+COM2ボタン、デバイスボタンを同時に3秒間長押し
- ④LEDが青赤同時点灯し「Reset Finish」と出力されたら、手を離してリセット完了



# ボイスアシストの音声内容一覧

## <ボイスアシスト 案内内容>

### 【起動時に通知する音声】

・バッテリー残量

「B+COM Let's Go !」…… =バッテリー残量-(多)

「Battery Mid」…… =バッテリー残量-(中)

「Please Charge」…… =バッテリー残量-(小)

・デバイス機器との接続完了（オートコネクトで接続完了した場合）

「HFP ON」……ハンズフリー(主に携帯電話の通話機能との)接続完了

「HSP ON」……ヘッドセット(主にデバイスのヘッドセットとして)接続完了

「A2DP ON」……オーディオ機能(音楽またはステレオナビ)接続完了

### 【ペアリング時の音声】

・携帯電話、ナビ、デバイス機器とのペアリング状態

「Device Pairing Mode. Please Touch Phone & Device.」

・B+COM同士のペアリング状態

B+COM1ボタンでの操作……「B+COM 1 Pairing」

B+COM2ボタンでの操作……「B+COM 2 Pairing」

### 【発信および通話呼び出し】

・携帯電話リダイヤル発信

「Redialing」

・B+COM通話呼び出し

B+COM1ボタンでの操作……「B+COM 1 Calling」

B+COM2ボタンでの操作……「B+COM 2 Calling」

### 【その他の音声】

・電源OFF……「Shut Down」

・リセット完了……「Reset Finish」（ALLリセットおよびインカムリセット共通）

・モード切替完了…「Mode A」または、「Mode B」

・マイクミュート…「Mic. Mute」

# ソフトウェアをアップデートする

＜動作可能環境 OS:WINDOWS 7、インターネット接続＞

(2015年6月現在)

インターネットを利用して SB4X/Lite 専用のプログラムアップデートを行うことで、SB4X Lite の機能をアップしたり、新型端末機種や接続機器への対応を最適化して快適に使用できるようにします。プログラムは SB4X/Lite と SB5X や SB213.EVO 等の他製品とはそれぞれプログラムが異なりますのでご注意ください。最新情報や詳細は弊社 WEB サイト ([www.bolt.co.jp](http://www.bolt.co.jp)) にてご確認ください。

- ①弊社ウェブサイトでプログラムをダウンロードします。
- ②作業前にアップデートマニュアルを確認します。
- ③マニュアルに記載の内容に従い作業を行います。
- ④下図のように接続するタイミングは、マニュアルの指示に従って行ってください。



## SB4X LiteのPCへ接続時の注意点

- PCIに接続している全てのBluetooth機器をOFFにしてください。
- USBポートに接続しているBluetoothアダプタ等(マウス等の)も取り外してください。
- PCのBluetooth機能をデバイスからOFFにするか、プログラムをダウンロード後、ワイヤレス機能をOFFしてください。

※全ての接続機器に最適化されたアップデートを行う想定はありません。またプログラム開発に時間を要する場合がございます。

## 仕様

※本使用は予告無く変更する場合があります。

Bluetooth	: Ver.3.0
チップ	: CSR BC05MM オリジナル3チャンネルタイプ
RFレンジ	: Class1
スピーカー	: 2スピーカー-44mm, 8Ω, 0.5W(モノラル時も2スピーカー)
Pin No.	: 0000
バッテリー	: リチウムポリマー-3.7V 容量750mAh 内蔵タイプ
充電電圧	: 入力AC100V-240V、出力 DC5V-0.8mA×2ポート
充電時間	: ACアダプター+USB ケーブル 約2時間
連続使用時間	: 携帯電話最大通話時間 約18時間/待受け時間 約500時間
オーディオ最大使用時間	: 約18時間
B+COM 最大通話時間	: 約16時間
	: 使用環境により大幅に差異が生じる場合があります。
本体サイズ	: 97.6×43.0×26.0(マイク部180.0) ※単位mm
本体重量	: 58g
電波仕様	: 2.402～2.480GHz データ伝送速度3Mbps(最大)
周波数拡散方式	: FHSS(Frequency Hopping Spread Spectrum)
変調方式	: GFSK(Gaussian Frequency Shift Keying)
電波到達範囲	: 最大 約1.4km ※B+COM 通話で双方の間に障害物の無い見通しの直線距離
対応 Bluetooth	
プロファイル	: ICP, HSP, HFP, A2DP, AVRCP, GAVDP, GAP
認証	: Bluetooth, TELEC, PSE
防水性能	: IP67 ※本体部分のみ

# こんなときは

下記のような場合は、取扱説明書、クイックマニュアルをもう一度ご確認ください。それでも解決しないときは、弊社WEBサイト（[www.bolt.co.jp](http://www.bolt.co.jp)）内、「B+COM FAQ」をご覧になるか、保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。

## B+COM SB4X Liteが携帯電話とうまく連動しない…

- ・本機の電源がONになっているかを確認してください。
- ・バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
- ・携帯電話が通話可能かどうかを確認してください。
- ・携帯電話のBluetooth機能がONになっているかを確認してください。
- ・本機と携帯電話のペアリング（初期登録）が正常に完了しているか確認してください。
- ・本機をリセットしてから携帯電話の取扱説明書を参照してペアリングをやり直してください。
- ・docomo系はBluetoothメニュー内の着信音送出設定を「送らない」に設定されているか確認してください。
- ・au系は本機と接続時、電話機は「接続待ち」にしてから本機のボリュームダイヤルを上に1回押して接続してください。

## 通話相手にこちらの声が聞こえない…

- ・本体にマイクパートが確実に取り付けられているかを確認してください。
- ・マイクの集音ホールの向きが口の方向に向いているか確認してください。

## 通話相手の声が聞こえない…

- ・スピーカーボリュームダイヤルで音量を上げてみてください。
- ・ヘルメットスピーカー、スピーカー変換ケーブル、B+COM本体が正確に接続されているかを確認してください。

## 走行すると最大ボリュームでもノイズできちんと聴こえない… 耳の上・外側が押されて、耳が痛い…

停車中はきちんと聞こえても走ると音が聞こえづらい場合や、耳が痛い場合は以下を確認・お試しください。

### ・スピーカーと耳は大きな隙間なく正しくフィットしていますか？

耳とスピーカーの隙間に空間があると、ボリュームを上げても正しい音量・音質で聴くことができません。付属のスピーカー固定用調整パッドでスピーカーが耳にフィットするよう耳とスピーカーの隙間を調整してください。

### ・スピーカーは耳の中心に合うよう正しい位置に固定されていますか？

耳の中心とスピーカーの中心が正しく合っていないと、ボリュームを上げても正しい音量・音質で聴くことができないばかりか、大抵の場合、耳の上外付近になり耳の軟骨を押して耳が痛くなる場合があります。ヘルメットを被った時に耳の中心に来るようスピーカーの位置を調整して固定してください。位置の目安としてはストラップの付け根付近に寄せるようにし、実際に被って音楽などを聴きながら微調整してください。

■ 連絡先／製品送付先  
株式会社サインハウス  
〒 211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子 13-2 野村不動産武蔵小杉ビル N 棟 11F  
TEL : 044-400-1979 URL : <https://sygnhouse.jp/>

22.12